

平成 24 年度決算概要について

学校法人熊本城北学園の平成 24 年度決算は、平成 25 年 5 月 30 日に開催された理事会および評議員会において承認されました。

ここでは、企業会計における損益計算書に相当する消費収支計算書および財政状態を表す貸借対照表をもとに、平成 24 年度決算の概要についてご報告いたします。

1. 消費収支計算書

(1) 消費収入の部

帰属収入すなわち当法人の負債とならない純粋の収入は、前年比 3,855 万円増の 22 億 2,747 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ① 学生生徒等納付金…在籍学生数の増加により前年比 4,166 万円の増収となりました。
- ② 手数料…入学志願者数の増加等により前年比 136 万円の増収となりました。
- ③ 寄付金…研究助成金、現物寄付金の増加等により前年比 710 万円の増収となりました。
- ④ 補助金…国庫補助金の減少等により前年比 93 万円の減収となりました。
- ⑤ 資産運用収入…受取利息の増加により前年比 75 万円の増収となりました。
- ⑥ 事業収入…附属鍼灸臨床センターの診療収入増加等により前年比 503 万円の増収となりました。
- ⑦ 雑収入…私立大学退職金財団の交付金減少等により前年比 1,643 万円の減収となりました。

帰属収入から基本金組入額 9,714 万円を差し引いた消費収入は、前年比 1 億 806 万円増の 21 億 3,033 万円となりました。

(2) 消費支出の部

消費支出は、前年比 2,758 万円減の 21 億 753 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ① 人件費…教員人件費、退職給与引当金繰入額の減少により前年比 404 万円減少しました。
- ② 教育研究経費…消耗品費、旅費交通費、賃借料等の減少により前年比 1,206 万円減少しました。
- ③ 管理経費…旅費交通費、広報費、賃借料等の減少により前年比 1,548 万円減少しました。

消費収入から消費支出を差し引いた当年度消費収入超過額は、前年比 1 億 3,564 万円増の 2,280 万円となり、4 期ぶりに収入超過に転じました。前年度繰越消費収入超過額に当年度消費収入超過額を加えた翌年度繰越消費収入超過額は 6 億 1,005 万円となりました。

また、帰属収入から消費支出を差し引いた帰属収支差額は、前年比 6,613 万円増の 1 億 1,994 万円となりました。帰属収支差額の帰属収入に対する割合は 5.4%と前年比 1.9 ポイント上昇しました。

2. 貸借対照表

(1) 資産の部

資産総額は、前年比 1 億 1,420 万円増の 95 億 8,126 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ①固定資産…奨学資金引当特定預金への繰入によるその他固定資産の増加により前年比 678 万円増加しました。
- ②流動資産…現金預金の増加等により前年比 1 億 741 万円増加しました。

(2) 負債の部

負債総額は、前年比 574 万円減の 9 億 310 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ①固定負債…退職給与引当金の増加により前年比 1,155 万円増加しました。
- ②流動負債…未払金の減少等により前年比 1,729 万円減少しました。

(3) 基本金の部

基本金総額は、第 1 号基本金の増加により前年比 9,714 万円増の 80 億 6,810 万円となりました。

(4) 消費収支差額の部

消費収支差額は、前年度繰越消費収入超過額に当年度消費収入超過額を加えて、前年比 2,280 万円増の 6 億 1,005 万円となりました。

基本金に消費収支差額を加えた正味財産は、前年比 1 億 1,990 万円増の 86 億 7,820 万円となりました。

最終的に、負債の部、基本金の部、消費収支差額の部合計は、95 億 8,126 万円となりました。これは、前年と比較して 1 億 1,420 万円増加しております。正味財産の総資産に占める割合は、前年比 0.2 ポイント増加して 90.6%となりました。

なお、減価償却の累計額は、前年比 2 億 9,240 万円増の 33 億 4,820 万円となっております。